



A central male figure is surrounded by three female characters. The character on the left has long green hair and wears a white shirt with a red tie. The character in the center has short red hair and is shirtless. The character on the right has long blonde hair tied with a blue ribbon and wears a white shirt with a brown vest. All characters have a distressed or shocked expression. The background is dark and textured.

X Report

-結実-

For Adult only

私は暗い廊下を
一人で歩いていました。

なぜ私がこんな所にいるのか
思い出そうとしても
頭に霧がかかったようで
全く思い出せませんでした。

ヴィヴィオ

何すまん
ですから

嫌
はなして

大人しくしろっ！



可愛いねえ

嫌
あ
マ
ッ
!!

嫌
ッ
!!

離
して

何
な
ん
で
す
か
あ
な
た
連
は
ッ
!!

ビク

ビク

暴
れ
んな
つて

明かりの漏れている部屋に入ると
たくさんの男の人達がいて
私のことを組み伏せようとしています。
私は精一杯抵抗しましたが
何故かまるで体に力が入りません。

と
こ
し
て



しかし男達は
私の口をガムテープで塞ぎ
声を出せないようにな
ったのです。

さつさと
黙らせようぜ…

オイ…
うるせーからさ

男達は私の事を強姦しようとしている…
私はそれに気づき必死で止めてと叫びました。

それじゃ処女
いつただつきまーす

お前
じやんけん
マジで強いよなー

そして…
私は強姦されました。

指すら入れたことの無かった場所に
男の人の性器が出入りする感覺：
破瓜の痛みと内臓が突き上げられる
感覺に何度も叫びたくなりました。

やっぱ
初物はいいね

締りが違うね！

ですが
そうしようにも
私の口は塞がれていて
どうにもなりません。

…出す？
出すつでまさか！

おいおい
いいからさつさと
出せよ…

はいはい
もう出します
よっ…と

助けつ
助けて

嫌
づ
やだつ！

嫌あう！

ついに私を犯していた男が
私の中に精液を出しました。
私は学校の授業でこれが
何を意味するか知っていました。

でもそれは初まりでしかなかつたのです。





私は代わる代わる
何人もの男達に
犯され続けました。

私がついに
気を失ってしまうまで…

目を覚ました時
私は口を何かで塞がれ
体を拘束されていました。
そんな私を一人の男性が
見下ろしていました。

AINHART

ほら…
必死で抵抗しねえと
レ○ブで処女失つちまうぞ？

未使用か…
ラッキーだな

そして…
私はその男性に
強姦されました。



私は
男達の陵辱に
必死で耐えました。

物欲しそうな
顔してんじやねえよ

これが好きなんだろ！
たっぷり出してやるよ！

こんな痛みに
耐えられないようでは
霸王の悲願は達成できな
いと自分に言い聞かせて。

あ…
アレやつとかねーと

痛
くない
痛くないつ！

今
私
唇
初めて

今
私
何された
？

ファーストキスが
後回しになつてて…

ごめんな…

う…

しかし：
私を乱暴に犯していた男に
優しく口づけされた時…
私の中で何かが
壊れてしましました。

おー
反応よくなつた！

あとで
俺にもやらせてー

やっぱこうじやないと
レ○ブつて
気がしないよな！

決して
流すまいと思っていた涙は
堰を切つたように溢れだし
感情を制御できなくなつた私は
子供のように泣きじやくりました。

そんな私の姿を見て
男達はますます乱暴に
犯すようになりました。



何十人もの男が私の脛で
ペニスを擦り上げ
私の子宮に精液を浴びせて
いきました。



やがて私は意識を失い
ひとまずその行為から
解放されました：

これがとある研究施設での日常です。
鋭い方なら既にお気づきでしようが、
犯されている少女達はヒトではありません。

彼女達は「マリアージュ」とよばれる
現実の少女の姿を模した魔法生物なのです。

そして、

この施設の研究員達は
その「マリアージュ」の研究を行つています。

この本に記載されているのは、
その研究員達のレポートなのです。

では、彼らの日々の
研究報告を少し覗いてみましょ。



コロナは
操作系の魔法を得意とし
物体を自由に操ることができます。

本日捕獲したサンプル
「ジークリンデ」と
「シャンテ」に対する
「コロナ」を使ったプレイの
レポートです。

研究員 F



我々はそれを
肉体の肉オナホ化に応用し
かつてないほどの快感を
得ることに成功しました。



操作系魔法による
強制的な口淫には
従来のように
面倒な腰や手の動きは
必要なく

少女が高速で頭を振り
喉奥までペニスを
挿入してくれるため

「射精にだけ
集中できて良い」
と研究員の評判も
上々です。

コロナ…

そろそろ
例のやつを頼むよ

はい…承知しました
子宮口強制拡張します

また
使いすぎて腫瘻が
低くなつた場合にも

ん…
いい眺めだな
奥まで丸見えだ

子宮口を操作系魔法で
無理やり拡張することで
子宮内に直接ペニスを入れ
楽しむ事が可能ですが。

さらにコロナの
「マイストアーツ」の応用で
壁壁を操作して

「壁内にありながら
手を使って
じこいてもらっている」
というプレイも可能であり

「手淫に慣れすぎていて
壁内射精がしにくく」
という研究員も
無理なく射精をする事が
可能になりました。

中に出すぞ
ありがたく思え！

現在のところの
問題点としては…

うつ…
出るつ！

やりすぎて少女達が
すぐ使い物に
ならなくなってしまう
ことぐらいです。

本日捕獲したサンプル
「ハリー」と
「ミウラ」に対する
「リオ」による
継続実験のレポート。

研究員J（C班）

「第二世代マリアージュ」は
現実世界の人間と同様の
記憶と形態を取る事が
判明している。

まだこんなに
抵抗するんだな

性行為に対し悦びを感じ崩になる
その目的は「精液の採取」であり
およそ五人分の採取で
「第二ラエイズ」に移行する。

おー
いいねー

やれ！
おいリオ

だまか
助けてえー

はい……！

だが我々は
「強力な電撃」
によつて

彼女達を
「第二フェイズ」状態に
させない方法を発見した。

これは我々にとつて
大きな希望となつた。



折角 每日少女を
犯せるというのに
どれもが好きものでは
興ざめにもほどがある。



嫌、やめ
ほくのが

うおっ！

電撃で膝が痙攣して…
すげえ気持ちいいいつ！
くつ！

われわれ
C 班は少女の

嫌がりながら
陵辱される顔が
見たいのだ。

その為には日々
研究を続けなければ
ならない。

我々には
休む暇などない。

くわ
目當

ちょっとこいつら

おーいリオ
こつちこーい

動かなく
なつちまつたなー

キツいやつ
一発食らわせてさ

休む暇などないのだ。

本日捕獲したサンブル
「ミカヤ」と
「ヴィクトリア」に対する
「エルス」を使ったプレイの
レポートになります。

研究員 G(E 班)

エルスさん、
どうして

自由自在

卷之三

どうしてあは

ふう…
出した出した…

エルスは拘束魔法を得意としており、チエーン状のバインドを使う事により様々な体位を楽しむ事ができます。

こいつは
具合がいいや！

中からすごい量
溢れてきてやがるぜ

口にもたっぷり
出してやる！

コロナタイプでは成し得なかつたような全身を使つたプレイに、対応しているのがエルスの利点です。

美味しく
このデカ乳女が！

今回は鎖バインドプレイと相性の良い胸の大きな二人を選出しましたが、先の実験で「雷系魔法使い」の別用途での有用性が高まったため

「暫くこの体を堪能できなくなるかもしれない」と
研究員達が
ヴィクトリアに殺到しました。

鎮バインドは体の至る所に
付ける事が可能で
付ける事自体には痛みを
伴わない為…

ほーら
この鏡で見せてやるよ

嫌ああああ

嫌ッ！ 嫌ッ

俺らの精液が
確実にお前の子宮に
入つていつてる姿をな！

肉体的苦痛ではなく
精神的苦痛を与える
凌辱する為に
活用されていました。

雷帝の血筋を重んじる
ヴィクトリアに
「膣内射精した精液が
子宮に流れ込んでいくのを
見せつける」など

そして約五時間…
二名とも
ほぼ動かなくなつた為
小休止をいれ…

おーい
いいの借りてきたぞー

鎮で動かすのも
限界か…

ちつ… 反応
無くなつちまつたな…

その間
再度プランを見直し
別の実験を行う事に
しました。

じゅりオ
よろしく頼むよ

そのレポートは
おつて報告します。

次はリオタイプだけでなく
エルスタイルも
別部署から借りてきて
試してみたいと思います。

ついでにこつちも
やつてくれ

はいっ…

目的の為…
次元世界を旅し
空を見上げながら

イクスヴェリア

私は
あの研究室での事を
思い出していました。

私を犯せ
……だと？

突然
閉じ込めて
こんな事させておいて…

わかったよ！
やれってんなら
やつてやるよ！



男達は次々に
貪るようにな
私を犯しました。

反省しろ!
ナカダシ
腔内射精されて

いきなり
閉じ込めやがつて!

ですが
私にはそれくらいしか
償う方法が無かつたのです。

私 イクスヴェリアは
精液を摂取すると
「第一世代マリアージュ」を
生みだします。



全て男性型（遺伝子情報なし）

男は私の脚足を握り上げ、
えぐるように
私の膝内にペニスを突きたてます。
体の自由がきかない私は、
彼の欲しがままに
されるしかありません。

「第一世代マリアージュ」は
魔力豊かな女性を犯し、
「第二世代マリアージュ」を
出産させます。

出産

腰二出スゾ…
子ヲ孕メ…

「子宮内に出さないで…」

まさか…
嫌ッ！
いやあ…

「第二世代マリアージュ」は
男性と交わり、
自己増殖及び交配生殖可能な
「第三世代マリアージュ」を出産するのです。

「第二世代マリアージュ」は母体（この場合はヴィヴィオとアインハルト）
の記憶にある人物の姿をとる

ヴィヴィオ
AINHALT

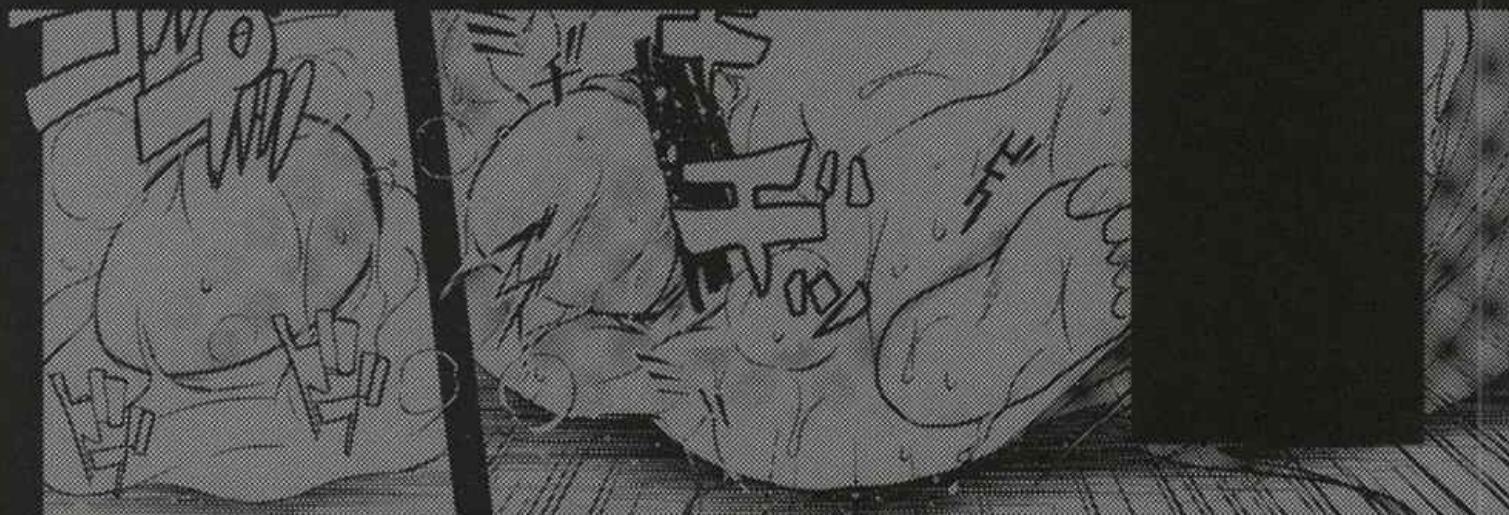
+

研究員達

の遺伝子を使って増殖

女性（母体）

男性



そして「第三世代マリアージュ」は
世界に「マリアージュ細胞」を散布し、
それに汚染された生命は私に思考が筒抜けになり、
私の意志で燃焼、爆破させることが可能になる。

私は世界の生けとし生けるものの心を盗み見、生殺与奪の権利を得る。
それが古代ベルカに作られたイクスヴェリアの実態。



もうここから
脱出してもらつて
大丈夫です

許してもらつつもりも
ありませんが…
皆さん 本当にご迷惑を
おかけしました…

!?

許すぜ 僕たち

そうだなー
わけわからなかつたから
モヤモヤしてたけど
いい目にしかあつてねえし

むしろ
出て行きたくない
くらいだよ…

ここで問題があつた事が
分かったら
当然処分されるからな

それは…
まあ
ありがたいんだけど…

それは…
私が命に替えても
皆さんをお守りします…！

別に外の世界に
未練があるわけじや
ないんだ：

俺ら 極秘研究のために
集められたから
身寄りも無いんで…

このマリアージュの
詳細レポートによると
「第二世代マリアージュ」は
まだ生まれてくるんだろう？

俺らはここに残るよ



「第三世代マリアージュ」
を産む事のできる

私達
「第二世代マリアージュ」は
十分な遺伝子情報を得ると…

M2 ヴィヴィオ&アインハルト

「第三フェイズ」に
移行します。

あはっ

あー
まれる、

ギ

ニま
生まれる、

ニま

!!

ド

産卵

あはあ

ち

私

そして
専用のフロアに移動させられ、
そこでずっと
「第三世代マリアージュ」を
出産し続けるのです



鳥類でいうところの
無精卵のようなものが
混ざつておる。
それから
「第二世代マリアージュ」が
生まれます

しかし、全てが
「第三世代マリアージュ」
というわけではなく

イクスヴェリア
マスターのプログラムで
「第三世代マリアージュ」は
外に…

F2 フロアでは
研究員の皆さん達が

さまざま
な実験を行つて
います。

うつ…
出るつ…!

「リオ」型と
「ヴィクトリア」型は
実験で有用なため…

真っ先に確保され
従順になる
処理がなされます。

やつた!
これリオじゃん!

前のはうつかり
使いすぎちやつたからな
良かつたー

お
また誰かきたな

リオか
ヴィクトリア
欲しいな

誰だろうなー







実験により

「第二世代マリアージュ」は

最初の精液を

攝取する前に

5分以上

電撃を与える事により

淫乱になるのを

防ぐ事が可能だと

わかりました。

よーし
そろそろいいぞ

よくやったな
リオ

大体の部署では
まず
この処理が行われます

さて…じゃあ
初めて見るこいつの
初物をいただくか

おー外見通り
キツキツだわ！

肉製いてる感
たまんねえ！







やっぱ
コロナはいいな！
持ちやすくて！

追記として最近
足に交わった男性の数を
書き記す事が
義務化されました

レ・ブされたくて
こんな髪型に
してるんだろう？

ちつ…
第二フェイズに
なったか…

何人の精液を攝取したかを
きちんと書き記す事により

ううつ！
出すぞ
コロナ！

「第二フェイズ」にはいる
平均人數を把握することが目的
だそうです

ずっと声
我慢するんだよ

エルスタイルは



それ以外は
特に大きな取り決めもなく
みんな自由に
研究をしています



一生懸命
研究をしている姿は
とても尊敬できます

漏れるくらい
出してやる！

ほら！
全部飲め！

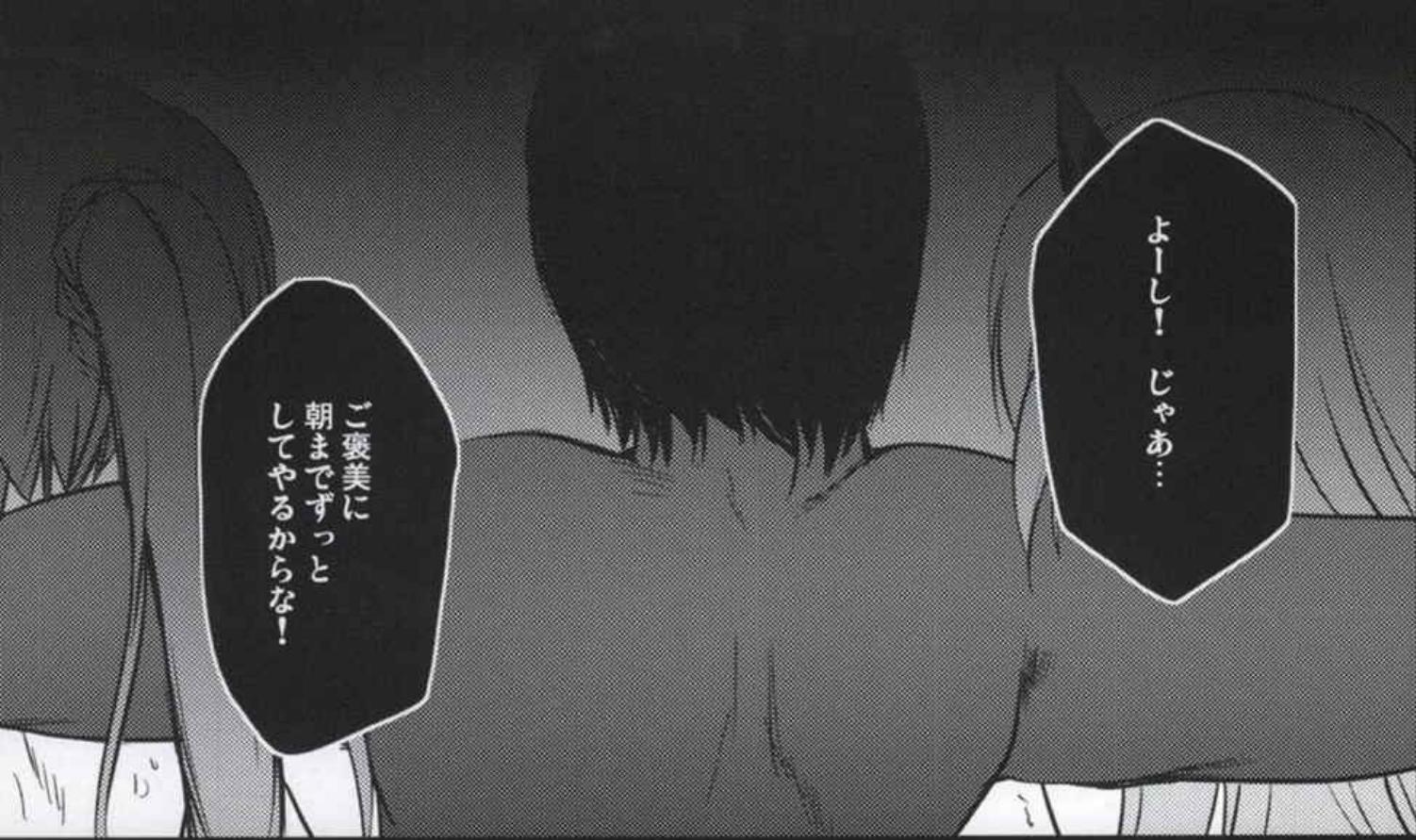
毎日
いっぱい
精液を出して

私達はもうすぐ
「第三フェイズ」に
入るので

もうあまり
研究の
お手伝いをする事は
できませんが

また機会があれば
研究員さん達と
いっぱい
えっちらしたいです
♥





…それから数年の月日が流れ…

X-DAY は訪れた。

世界中にイクスヴェリアから
表明が出されたのだ。

戦争、紛争行為の停止、
理不尽な暴力行為の禁止を要求する。

警告を受け、なお従わないものは爆破する…と。



マリアージュ細胞は
既に世界中に拡散、蓄積しており
根絶は不可能。

自らと、愛するものの命を握られて、..
誰もイクスヴェリアに逆らうことはできなかった。

世界はイクスヴェリアの名のもとに

マリアージュ
結実

したのだ。

そして…
我々はというと
あいも変わらず
あの研究室にいた。

研究員 R

この素晴らしい研究対象は
いつも新しい発見に
満ちている

「記憶検索魔法による
特定の個体を選別する方法」
「炎熱魔法により通常より幼い
未成熟体を作り出す方法」

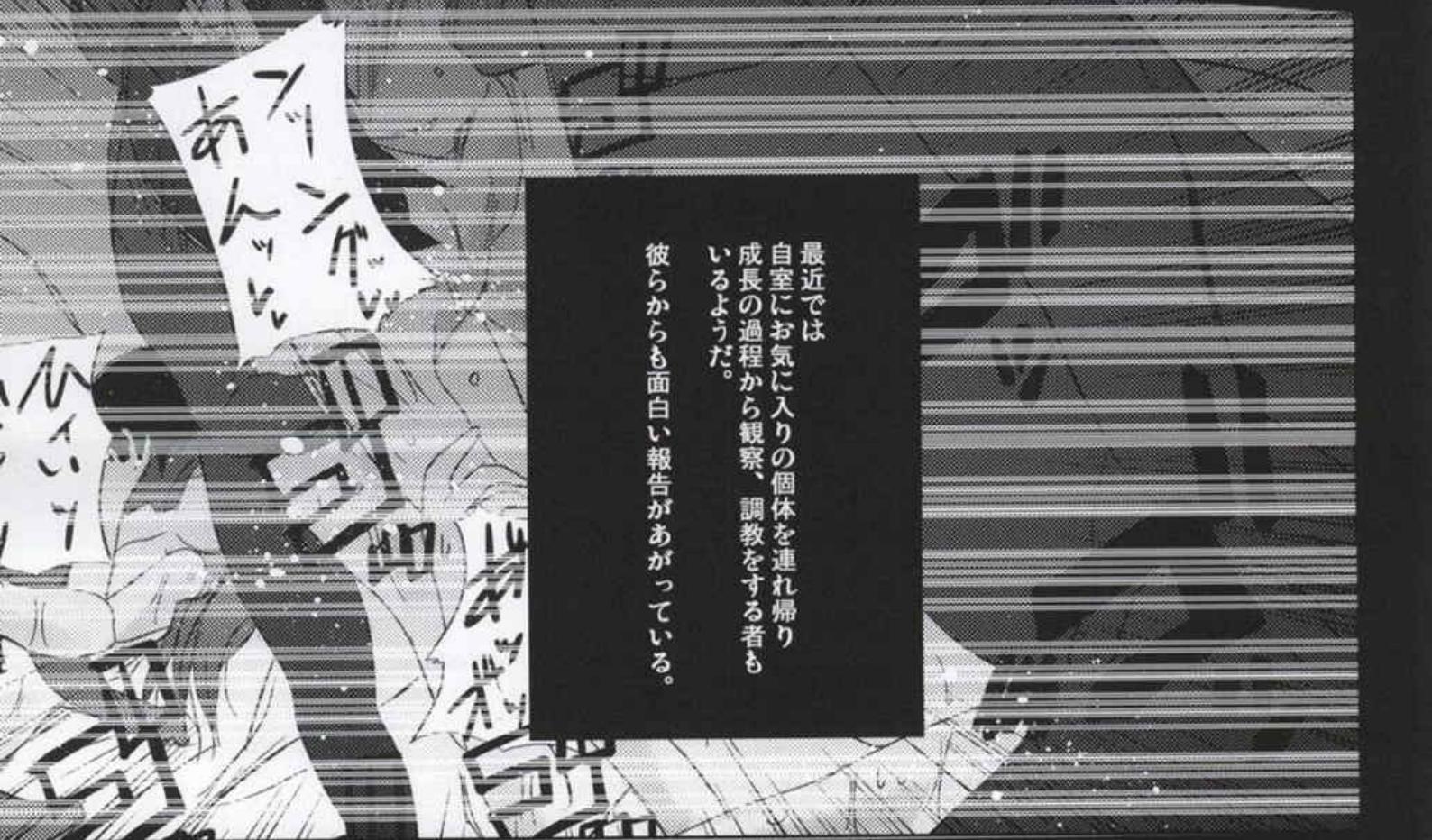
んうーーー
精子だよーーー
わうーーー

痛いよーー
だよーー

おーーー
ラーーー



「刷り込みによりデータ上の
人物も生ませる事」が可能になり
バリエーションの幅も広がった。



最近では
自室にお気に入りの個体を連れ帰り
成長の過程から観察、調教をする者も
いるようだ。
彼らからも面白い報告があがっている。

いつか…… そのレポートも
貴方の目に留まることがありますように。

X-Report Fin.

『NextPreview』サークルラインフォメーション

<http://preview.sakura.ne.jp/>



『NextPreview』はMIAと春日木雅人が、まつたりとやっているサークルです。

現在の活動ジャンルは
『魔法少女リリカルなのは』です。

イベントは、夏コミ冬コミを中心に、
色々なイベントに参加しています。

HPも…それなりに更新してますので、
どうぞ見にきてください。

既刊紹介



同人誌即売会にて、配布中です☆

いえ…

貴方たち、反聖王連合の
手のものですか？…?
一体どうやってここに？

この感覺…
侵入者？

船の異変に気がついたのは
私が「ゆりかご」の聖王」として眠りについて
しばらく後のことでした

どのような輩であろうと
この玉座の王オリヴィエの
名にかけて、「この船から
退場していただきます！

ゆりかごの中での
聖王は絶対…
その時の私は気がついて
いなかったのです
自分の身体の異変に…

玉座の王として

時を過ごし過ぎた

私の身体は…

既に戦闘に向かない
ものになっていました

身体の制御が…

魔力が減退してる?



そして…

お、聖王さま
ちゃんと処女だな
エライエライ

あなたの子宮の代わりに埋まってる聖王核は
精液に含まれる他人の遺伝子で汚染されると
適合率が変わって拒否反応がでちまうんだよ
まあ、俺たちの狙いもそこなんだがな

んなわけないだろ…
一度でいいから姫様と
やりたかったらうにな…
こりや、子孫代々まで
崇るんじやないか?
心底、哀れな王子だ

爺さんたちに言われてたろ?

「玉座の王は絶対に純潔を守れ」って…

聖王家が警戒してたのは
シトウラ王家でなくて王子様の
ロイヤルキ○タマつてわけだ

何を馬鹿なことを…
あと、へんなとこ
触るのやめてください

そう思つてるのはアンタだけだよ
クラウス王子も可哀想に

クラウスと私は
そんな関係ではありません!
クラウスだつて…

とはいっ、姫様も可哀想だよな…

こりやガチガチだな…



世が世なら幼馴染の王子と
幸せに結ばれるとこらが

誰とも知れぬ男に
大事に守ってきた
処女膜ブチぬかれる
んだからな！

自分が性交を行うことなど想像することさえなかつた私は…男性の剛直が膣口を押し広げて挿入される瞬間ににおいてでさえこの現実を認識できずにいたのです

応えられなかつたクラウスの想い：
彼は私を恨めしく思つてゐるでしようか
でも、凌辱されてゐる私には、ゆつくりと
彼との想いに馳せるような
猶予は残されてはいませんでした

胎内から焼かれるような激しい痛み：
処女膜を裂かれ純潔を奪われる感覚は
自分が女の子であることを
否応なく意識させられるものでした

わ、たし、いま
おかさ・れつ

クラウス

いたいっ…



精液で汚されると同時に
聖王核が軋み、身体から力が
抜けていくのがわかりました

イクスヴェリアレポート No3

イクスヴェリアから聞いた「第三世代マリアージュ」の特性を要約すると、

- ・「第三世代マリアージュ」はこの世界に存在する生命体と交配し、子孫を増やすことができる。
- ・「第三世代マリアージュ」は存在しながら周囲に「マリアージュ細胞」を散布する。

というものである。

上記の「マリアージュ細胞」に汚染された生命体はイクスヴェリアの命令により発火、爆破される危険を伴う。
また自身も「マリアージュ細胞」を周囲に散布するようになる。

「マリアージュ細胞」に一度汚染されると除去は困難で、接触および空気感染する
「マリアージュ細胞」が一度広まってしまえば、世界の命はイクスヴェリアに握られたも同然である。

我々はさらに「マリアージュ」の分析を進めたいと思う。
感染の危険がある為、施設内に救援は不要である。
そして兵器による施設の破壊も止めたほうが良い。
これは我々の命が惜しくて言っているのではなく、施設内に蔓延した高濃度の
「マリアージュ細胞」の飛散を避けるためだ。

結論として、この施設は封鎖し、もとより存在しなかった事にして欲しい。
食料は自給できており、空間シミュレーターがある為、外出できないことによる
ストレスもない。

我々はここで研究を続けながら、判明したデータを送信し続ける。

もう一度、言っておく。
この施設、そして我々は存在しなかった事にして欲しい。
我々は意図しなかったに間わらず「第三世代マリアージュ」を生み出す結果となった。
これが明るみに出れば、聖王協会の権威は失墜する。
世界の安寧の為にも、この事実は間に算るべきなのだ。

2014. summer
Next Preview